



令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果

本年4月に6年生を対象に実施された「令和5年度全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から公表されました。この調査は、児童の学力と学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。

本校では、昨年の調査結果の分析から、条件に合わせた記述に課題があるとして、全学年で重点的に指導してきました。今回の調査ではその成果が見られ、国語・算数ともに記述で解答する問題の正答率が上がりました。今年度も結果を分析し、成果や課題を学校・家庭・地域で共有し、取組をさらに充実していきたいと思えます。

【教科に関する調査の結果】

平均正答率	国語	算数
本校 (全国との差)	(+)	(+)
全国	67.2	62.5

各教科の平均正答率は、国語・算数とも全国平均を上回っています。領域別にみると、国語では「書くこと」、算数では「図形」の平均正答率が高い傾向にあります。しかし、両教科とも後半の問題の無回答率が高くなっています。問題の内容を早く正確に理解したりペース配分をしたりする力の育成が必要です。

【各教科の できているところ (○) と できていないところ (●)】

国語

○中心となる語や文を見つけて要約する問題で正答率が高かった。

問題番号2一 (本校の正答率 %)

〈問題の概要〉資料の内容として適切なものを選択する。

●よく使われる敬語の理解が弱い。

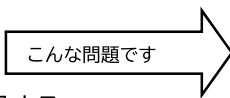
問題番号3三 (本校の正答率 %)

〈問題の概要〉文の空欄に入る正しい敬語を選択する。

●話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることに課題がある。

問題番号3一 (本校の正答率 %)

〈問題の概要〉インタビューで質問した理由として適切なものを選択する。



- | | | | |
|-------|---------|---------|--------|
| 4 | 3 | 2 | 1 |
| ア | ア | ア | ア |
| 申しした | おっしゃった | 申しした | おっしゃった |
| イ | イ | イ | イ |
| うかがって | お聞きになって | お聞きになって | うかがって |

聞きのがしたことを相手に確かめるとき

○ ○さんが

ア

ことを、もう一度、

イ

いいですか。

三 谷さんは学習をふり返り、インタビューをするときの敬語の使い方について、ノートにまとめています。次の「谷さんのノートの一部」の「ア」と「イ」に入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【谷さんのノートの一部】

《今後の学校としての取組》

- ・日常的に正しい敬語を使うよう指導する。
- ・書かれた文章の重要な語や文に印をつける練習を重ねることで、話の中心を捉えて聞き取る力を育成する。

算数

○「図形」領域で正答率が高かった。

問題番号2(2) (本校の正答率 %)

〈問題の概要〉テープを2本の直線で切ってできた四角形の名前と特徴を選ぶ。

●示された表から必要な数を読み取る力が弱い。

問題番号4(2) (本校の正答率 %)

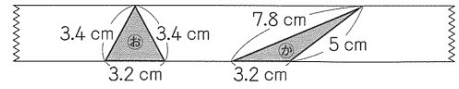
〈問題の概要〉運動カードから運動した時間が30分以上である日数を求める。

●自分の考えを言葉や数を用いて記述することに課題がある。

問題番号2(4) (本校の正答率 %)

〈問題の概要〉2つの三角形の面積の大小について、判断したわけを書く。

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような⑧と⑨の2つの三角形をつくります。



上の⑧と⑨の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ⑧の面積のほうが大きい。
- 2 ⑨の面積のほうが大きい。
- 3 ⑧と⑨の面積は等しい。
- 4 ⑧と⑨の面積は、このままでは比べることができない。

こんな問題です →

《今後の学校としての取組》

- ・表やグラフをから、条件に合う数を読み取り、データを活用する力をつける。
- ・考えた課程を文章で表す活動を低学年から段階的に取り入れていく。説明のひな形を示し、そのひな形を使って自分で説明させる。
- ・日常的に算数用語を用いるようにする。

【児童質問紙より】

児童質問紙は、児童の生活や学習の様子をアンケート形式で問う調査の事です。

以下に、本校の結果で特徴的な項目を取り上げます。

質問項目	選択肢	本校 (%)	全国 (%)	全国との比較
朝食を毎日食べていますか。	食べている		83.7	-
家で自分で計画を立てて勉強していますか。	よくしている		28.7	+
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。)	1時間以上		18.5	+
	10分より少ない		39.9	+
自分に良いところがある。	あてはまる どちらかといえば、 あてはまる		83.5	-

《家庭・地域のみなさんと連携して、子どもの「学びと育ち」を支えるために》

生活習慣の確立と学びの土台づくりのために、以下の取組をお願いします。

- ・規則正しい生活リズムを身に付けさせましょう。
十分な睡眠時間の確保、朝食の摂取、栄養バランスの取れた食事をする。
- ・家庭で学習や読書をする習慣を定着させましょう。
子どもが立てた「本日の学習メニュー」の中身を聞く。
身近なところに本がある環境を整える。
- ・自己肯定感を高めましょう。
いろいろな人とかかわり、たくさんほめてもらう機会をつくる。